

令和5年 大山崎町議会 第4回定例会

## 一般質問通告書

1. 辻 真理子
2. 波多野 底砂
3. 西田 光宏
4. 井上 博明
5. 徳本 修司
6. 小畠 孝信
7. 島 一嘉
8. 堀内 古比呂
9. 井上 治夫
10. 朝子 直美

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（①-1/1）

質問者	辻 真理子（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 物価高騰から暮らしを守る施策について	子育て世代からは、食費などを節約したくても既に節約していて、これ以上の節約は子どもへの影響が出てくるとの声がある。町としての対策を問う。	町長 教育長
	(1) 保育料の負担軽減を求めるがいかがか。 (2) 教育費の負担軽減を求めるがいかがか。 (3) どの世帯も公平に負担軽減となる上下水道の基本料金減免を行うべきと考えるがいかがか。	
2. 町立小中学校のグラウンド整備について	(1) 大山崎中学校のグラウンドは、雨が降ると、水はけの悪さや粘土質によってケガの恐れがあると指摘されている。グラウンドの改善が必要と考えるが対策を問う。 (2) 両小学校のグラウンドの状況を問う。	町長 教育長
3. 災害対策・避難所整備について	(1) 11月19日に行われた大山崎町総合防災訓練の対象人数、及び当日の参加人数を問う。また、参加された方からどのような感想や意見があったか。 (2) 小中学校の体育館へのエアコン設置は避難時の環境改善にも繋がると9月議会で答弁された。その後の進捗を問う。 (3) 「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都」の施設を災害時の避難所等として活用出来るように京都府に要請してはいかがか。	町長 教育長

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-1/7）

質問者	波多野 広砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項		答弁を求める者
「一年の計は元旦にあり」と教えられ、しっかりと1年間を総括すべきと考え、新しい年のテーマを考察すべきで、多岐に渡り列挙とする形としたために、答弁は簡単に結論のみとしてください。		
1. 鳥居前地区の集会所設置について		町長
鳥居前の府道（西乙訓高校まで）の地域に新住戸120戸・フラワーハイツ66戸に集会所ゼロ。不公平。積立てのプール金が有るはず。設置について問う。		町長
2. みやびヒルズの集会所について		町長
6年前に用地寄贈を受けた。いつ着工するのか。建設費の寄贈の有無等を問う。		町長
3. 第2保育所のスペースを適地とした鳥居前地区の集会所について		町長
鳥居前がテーマの質問1と2の合計330戸プラス附近約600戸。合計1,000戸の集会所がない。まとめた形で第2保育所のスペースを適地として、集会所にと求める。町長の考えを問う。		教育長
4. 第二大山崎小学校区に新たな民営の学童保育（放課後児童クラブ）を求める		教育長
第二大山崎小学校区に新たな民営の学童保育を求める。近隣するスペースの適地はあるのか。答弁を求める。		教育長
5. 第二大山崎小学校内の学童保育の適地・候補地について		教育長
教育長が学童保育開設地は学校敷地内の方針と述べたが、第二大山崎小学校内の適地・候補地の有無を問う。		町長
6. 学童保育との複合化に向けた第2保育所奥側スペースの活用について		町長

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-2/7）

質問者	波多野 底砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項		答弁を求める者
第二大山崎小学校区の第2の学童保育として、民営として第2保育所の奥側スペースを複合化とすべき。即実施すべき。対応を求める。		教育長
<b>7. 民間保育園の北隣にある当町の駐車スペースについて</b>		町長
(1) 人気の民間保育園の北隣にある当町の駐車スペースを他方へ移動すれば、同園舎の拡張が可能となり、同園の待機状況が改善する。 町長の考えを問う。		
(2) 同駐車スペースの移動先は3ヶ所（①西法寺・18棟南 ②北浦・15棟南 ③第2保育所の駐車場）、それぞれ第二大山崎小学校に近い旨を指摘する。対応しない理由を問う。		
<b>8. 保育所と学童保育の待機状況について</b>		町長 教育長
現状の民間保育園3園の超人気について感謝であり、さらに展開こそが当町民のニーズの旨の状況である。対する一方の前川共産町政の6年間について、保育所のスペース増や施策ゼロ、並びに学童保育の児童増加に全く対応出来ずである。待機状況の解決策を問う。		
<b>9. 現状の町施設の活用について</b>		町長 教育長
質問1～8についてリンクとなる。一括して手順をプラン例として次項に示す。		
①第2保育所の児童について。  現状の民間保育園並びに町立第3保育所・大山崎町保育所へと極力可能な範囲で現状の児童数の減少を穏やかにと尽力する。なお、新住宅増のピーク、子供増は減少へと転じる。		
②第2保育所の奥の遊戯室を民営・学童保育スペースとし、確定で複合化として段階を踏む。		
③質問7に示すとおり、該当の民間保育所でスペース拡張のお願いの完成で、第2保育所の児童数減＝第二大山崎小学校の学童保育スペ		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-3/7）

質問者	波多野 広砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	
ースのアップとできる。 ④保育園と学童保育の児童が時として混合となるが、どうあれ一本化で該当の民営でスムーズ・安全・安心が向上する。 ⑤第2保育所スペースについて、やがて第2の学童保育と鳥居前西地区の統一集会所の複合施設となることが理想である。 一挙に解決する形は、現状の町施設の最大の活用であり、必要資金についても小規模である。 以上の複合化としてのプランについて答弁を求める。		
<b>10. 西法寺公園スペースの貸与について</b>	町長	
さくらの里保育園にはご尽力いただき、全体として待機とならず感謝であります。ところで、当町の児童達であり、思いきり走り回るスペースの貸与が出来ないかについて問う。 なお、貸すのは園ではなく、当町の子供たちにして、該当園には管理をお願いする形。つまり東側の西法寺公園についてである。答弁を求める。		
<b>11. 中央公民館の解体費について</b>	町長	
中央公民館の建替えの前に解体が必要として、町答弁で解体費推定約2億3,000万円とした。延べ面積・坪単価を問う。		
<b>12. 中央公民館の残土処分費について</b>	町長	
中央公民館の解体で残土処分費の想定を問う。 また、当町専用の残土処分地の有無を問う。中ノ池は適地であるとして問う。		
<b>13. 中央公民館の残土処分地について</b>	町長	
解体費のアップは残土の捨て場が逼迫との理由がある。		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-4/7）

質問者	波多野 底砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	
総務部・環境事業部それぞれの状況と、中ノ池の適地を問う。		
<b>14. 第二大山崎小学校の再構築を想定した中ノ池の活用について</b>	町長	
11月11日 第二大山崎小学校の50周年記念に参加したが、既に50年であり、30年後には再建築の想定となる時点で仮校舎が必要で、現状の西法寺公園のスペースでは不足なので、中ノ池の平面スペースが必要。今は第三者への転売は認めない立場からとして答弁を求める。		
<b>15. 円明寺地域のまちづくりについて</b>	町長	
円明寺が丘団地・アルファベット棟住戸22棟504戸。南円明寺が丘団地・数字棟住戸19棟416戸。合計41棟920戸の意見交換会があった。町長は挨拶したが内容が全くない話で終止した。  なお、テラスハウス820戸の想定は、建物が共有で単独解体は問題が生じる。推定総人口約6,000人。  私的住居に対する個別の支援には公平の原則から難しいが、まちづくりの観点から行政としては可能な形がある。例えば中ノ池の埋め立て後の町有地について、仮に建替え時の仮設居住地としての貸地や仮設住宅等々を想定すべきである。町長の考えを問う。		
<b>16. 災害時の仮設住宅の建設スペースについて</b>	町長	
万一の災害で狭小な当町に仮設住宅の建設スペースがない。将来の多目的スペースとして中ノ池を温存の声が多い。  他に適地はあるのか、答弁を求める。		
<b>17. 中ノ池を将来に残置することについて</b>	町長	
町長は中ノ池を売却し、該当区にその費用で公民館の建設を約束した。話は正式には議会未承認である。  二元代表制・民主主義議会では、前川共産町長は12議員の内、与党は		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-5/7）

質問者	波多野 広砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	
わずか4名のみで、現実を逸脱した所作が多過ぎ、混乱している。  (注) 当方一個人の結論として、公民館は当町負担として認める。なお、条件として中ノ池は保存（転売しない形）で将来に残置することを求める。町長の考えを問う。		
18. 中ノ池を埋め立てとする場合の対策について	町長	
仮に開発業者への売却とすれば埋め立てとなる。水を抜いてヘドロの搬出またはヘドロに土を搬入、固め材の混入で搔きまわす、イコール凄いヘドロ臭が広い地域を席捲となり兼ねずとなれば、町長の発した臭いとなるとして、答弁を求める。  (注) まずは水利権者の同意の上で水を抜き、自然状況でヘドロを土に変換する形が必要です。西方向より残土を入れながら。		
19. 中ノ池の所有者について	町長	
9月議会で中ノ池の所有者、「大字中」について、「どなたですか」の質問に対して町長自身からの答弁ではなく、所有者不明であり、不勉強が公になった。所有者未確定で売却には大いに疑義を感じる。このままでは良いと町は考えているのか。  (注) 「大字中」とは、そのエリアの共同=「区」の所有は下線の表示=既に該当区の中ノ池にあらずとは、50年前の円明寺団地の造成で、当時京都府で買収補償済みの証拠が判明。なお、円明寺団地の分譲が完了。当町に移管されたとは、多くの町道・公園・公民館・学校・集中浄化槽・中ノ池・その他等々、府から当町民へのプレゼントである。		
なお、6月9日議会でも公民館の負担は、町責負担として一本化する事を求めている。なお、区の会館は、消防団等々のご協力があり、当然、町負担と解釈する。答弁を求める。		
20. 長寿苑の中央公民館複合化再構築について		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-6/7）

質問者	波多野 広砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	
混乱の世紀に便乗の建築費の高騰も理由の1つとして、中央公民館の見直しで長寿苑の現状派の町民多く、このままとする旨を求める。 なお、そのメリットとは、推定される解体費用約6,000万円の節約。新築で約3億6,300万円節約。合計約4億2,000万円の節約の想定となる。答弁を求める。	町長	
<b>2.1. 保健センターの中央公民館複合化再構築について</b>  保健センターの温存でメリットとは、想定される解体費用約8,000万円の節約。さらに新築対応費の節約となる。なお、現状の保健センターの1階フロアを民営学童保育スペースとして複合化することで、当町経済効果約6,000万～1億2,000万円効果となる。答弁を求める。 ※子供の人数は今がピーク。	町長	
<b>2.2. 大山崎集会所の中央公民館複合化再構築について</b>  築66年前の大山崎集会所を複合化に含めることを求める。④なお、用途・機能がホールと同じである。合体は当然、経済効果の評価について答弁を求める。	町長	
<b>2.3. ホールを1階とした中央公民館複合化再構築について</b>  中央公民館として、車椅子で自力脱出できる形のホールを1階とした対応プランが示されず、3月以降の10ヶ月間、町長部局は事実停滞。町長は執行義務果さず首長失格と言わざるを得ない。今後どうするのか答弁を求める。	町長	
<b>2.4. 大山崎小学校プール西側の敷地について</b>  (1) 大山崎小学校プール西側敷地の隣地との境界点の有無。確定図の有無について問う。建築基準法上40cm～1m空きのはず。産業廃棄物の不法投棄、不法侵入、町長は承認したのか、町長の職務範囲	町長	

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（②-7/7）

質問者	波多野 底砂（保守・本流・のぞみ）	
質問事項	答弁を求める者	
<p>である。町長の答弁を求める。</p> <p>(2) 隣地との空間は着工または解体で一定の間隔が必要であり、だとすればその部分にも産業廃棄物がとなりかねず、調査結果を問う。</p> <p>(3) 四輪車での進入路は、当町のプライベート敷地、通路ではないのか。答弁を求める。四輪侵入防止鉄柱の設置があるべきがない。 ※関連地権者があれば合鍵と係る必要な書面を取り交わすべき。さらに係る看板もなしである。どうするのか。</p> <p>(4) 町長に問う。当該敷地について、当町に買い取りの話があったと聞く。なぜ買い取りの話に乗らないのか、答弁を求める。</p>	町長	

25. 前川光共産与党町長の政治姿勢について

10月29日、大山崎小学校グラウンドで学童のイベント「親子ふれあいまつり」の案内があり参加した。

開会での場、町長は挨拶の中で、場違い・失礼千万の内容とは、「新しい学童を提案するも反対議員に否決された」旨を述べた。

※昨年の5月に、議会で12分の6が確保できない形の町長選挙出馬はやめなさいの旨指摘。共産与党、必ず対立する。町民は迷惑である。既に(元)真鍋共産町長時代、京都府を相手に水裁判で敗訴。

(注)前川さんは(元)真鍋さん共産党派であったのかを問う。

なお、ここにある当方の質問・提案に対して、行政として真摯に向き合うべきと思うが、一党一派に傾倒される前川町長としてはどう考えるのか、趣旨を明確にしてください。

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（③-1／1）

質問者	西田光宏（大山崎クラブ）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 住民の安心・安全な暮らしについて  (1) 大山崎茶屋前・高麗田・鏡田等の地域におけるＪＲ東海道新幹線の通過時の騒音と振動問題について問う。  (2) 国道・府道・町道に接する地域の交通・振動・騒音等に関する問題について、どのように対応・対処・対策をしているのか。	町長	
2. 地方自治における町長の政治姿勢について  (1) 中学校給食の無償化・バイオトイレ設置・複合化施設（公民館を含む）の建設・ファミー市との姉妹都市提携などについての議会対応をどう考えているのか。  (2) 行政組織の構築・人材育成についての考え方を問う。	町長	

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（④-1/1）

質問者	井上 博明（是々非々の会）	
質問事項	答弁を求める者	
1. 災害時に飼い主とペットが一緒に避難出来る環境整備について 現状及び今後の対応について問う。		町長
2. 公民館運営審議会の設置について  公共建物及び計画中の複合施設のより一層の有効利用促進が必要 と考える。住民の学びや生涯学習意欲を高める具体的手立てとして公 民館運営審議会の設立について問う。		教育長
3. 円明寺が丘団地居住者意向に関するアンケート結果報告会について  アンケート調査の結果報告会が実施された。居住者の意見を聞いた 上で、町長の意見、感想、今後の考え方について問う。		町長
4. 令和4年度大山崎町行財政改善委員会答申書について  答申書を受けての考え方について問う。		町長
5. 職場環境の現状について  行政運営に必要不可欠な職員数が減少している。職場環境の現状に ついて、職員の確保はもちろんのこと、仕事のやりがい作り、そして 個々のスキルアップが必要と考える。  (1) 職員が休日出勤した場合の代休取得状況について問う。 (2) 職員確保のための対策の現状について問う。 (3) 仕事のやりがい作り、個々のスキルアップに管理職および町長 の果たす役割について問う。		町長
6. フィリピン・ファミー市との姉妹都市締結に関する監査結果報告に ついて  監査結果報告を受けて町長の今後の対応について問う。		町長

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑤-1／1）

質問者	徳本修司（れんごう大山崎）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 防犯カメラの増設について		町長
(1) 大山崎町内で昨年度より刑法犯の件数が増加しているが、どのように考えているのか。 (2) 今年度予算計上された防犯カメラがまだ設置されていない理由は何か。 (3) 次年度以降も防犯カメラを継続して設置していく計画はあるか。 (4) カメラ付き自動販売機の有用性について本町の見解は。		
2. 府道西京高槻線の安全対策について		町長
(1) 府道西京高槻線のバリアフリー化と歩道の拡幅が進んでいない理由は何か。 (2) 府道西京高槻線のバリアフリー化と歩道の拡幅を進めて行く方法をどのように考えているのか。		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑥-1／1）

質問者	小畠 孝信（公明党）	
質問事項		答弁を求める者
1. 地域共生社会を支える高齢者活躍推進について	(1) 高齢者の健康で生き生きとした暮らしの実現のため、現役時代に培った豊かな経験と知識を生かしてもらい、高齢者の活力を社会に生かす具体的な対策をどのように考えているのか。  (2) 高齢者の活躍したいニーズを詳細に把握してほしいが、縦割り行政の弊害で相談先が分からず、話が前に進まないことが多い。具体的な対策をどのように講じる考えか。  (3) 現役時代から地域活動を知ることが有効（ボランティア休暇制度を利用）であると考えるが、民間企業と町との連携はあるのか。  (4) 現役時代に培ったスキルや相談から活躍につなげるまでワンストップ（1か所）で対応するセンターを町に設置するように求めがいかがか。  (5) 社会福祉関係機関との連携や、シルバー人材センター、社会福祉法人の受入体制整備などを行う「子育て・町づくり支援プロデューサー」を町に配置するように求めるがいかがか。  (6) 介護や子育てなど高齢者活躍のニーズが高い分野において、国家資格ほど高い専門性は有しないものの、補助的役割を担う資格の創設も独自に行うべきと考えるがいかがか。	町長

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑦-1／1）

質問者	島一嘉（安心）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 公共施設の建設について		町長 教育長
(1) 今議会で学童保育施設の設計予算が計上されている。先の9月議会で建設場所と方法について比較することを求めたが、どう進めるのか。		
(2) 住民の利便性向上を考え、公共施設は、その必要性と機能、将来負担などから、詳細までを最初に十分検討するべきである。今までの進め方をどう考えるか。		
2. 円明寺区の公民館建設について		町長
(1) 今年6月議会で円明寺区の公民館建設について、町からの支援を求めた。具体的な支援策を問う。		
(2) 円明寺区は法定財産区ではないが、どう進める方針であるか。		
3. バイオトイレ設置について		町長
(1) 「天王山にバイオトイレをつくる会」から200万円の寄付を受け1年が経過した。バイオトイレの設置を望む声と望まない声の両方を聞くが、どう進めるのか。		
(2) バイオトイレの性能、設置場所、設置経費、管理方法、運用経費などを明確にし、広く住民の声を聞く予定はあるか。		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑧-1／1）

質問者	堀内 古比呂（日本共産党議員団）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 円明寺が丘団地の将来に向けた次世代への継承について		町 長
<p>(1) 京都府により、令和5年1月から4月にかけて、各管理者、管理会社等に対し「区分所有マンションに関するアンケート」が実施されている。令和5年第2回定例会で質問した際、町が行った「大山崎町円明寺が丘団地居住者意向に関するアンケート」と府が行ったアンケートの結果をふまえて、管理組合に対する対策を進めるとの答弁があったが、その進捗状況を問う。</p> <p>(2) 11月10日、12日に町主催で開催された「円明寺が丘団地令和4年度実施のアンケート調査に関する結果報告・意見交流会」に参加した管理組合役員や住民から、公社4階建てに対する様々な意見が出された。町として、この出された意見をどのように活かしていくのか。</p> <p>(3) 管理組合への支援策の一つとして、耐震診断の費用補助制度を創設すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 町が開催費用を負担し、管理組合ごとに、専門家を招いた学習会などを実施すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 管理組合が建て替えの決定を行った場合、仮住まいの住居が必要となる。町として大山崎町にある空き家活用の検討、また府営住宅の空き部屋への入居が可能となるよう、京都府と協議をしておく必要があると考えるがいかがか。</p>		
2. 円明寺が丘交番跡地の活用について		町 長
<p>(1) 交番跡地前は、うぐいす号の停留所となっており、ベンチを設置すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 交番跡地付近では、高齢者の方が駅から降りられ、団地の坂を登っていく前に一休みする姿や、小さいお子さんを連れた方が、阪急電車を見るのに来られている様子をよく見る。簡易な公園として整備し、憩いの場とすべきと考えるがいかがか。</p>		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑨-1／1）

質問者	井上治夫（日本共産党議員団）	
	質問事項	答弁を求める者
1. 地方自治体の果たす公共の役割について		町長
(1) コロナ禍や物価高騰により、地方自治体の果たす役割が再認識されてきている。コロナ禍や物価高騰に対して町が行ってきた取組を問う。		
(2) 地方自治として大山崎町が行ってきた国の施策にない事業を問う。		
2. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実について		町長 教育長
(1) 大山崎町の学童保育の成り立ちと果たしてきた役割を問う。		
(2) 学童保育の充実には、施設設備の整備と指導員の確保が重要と考えるが、その現状と今後の対応を問う。		
3. 町内道路及び歩道の整備について		町長
(1) 歩道整備の不十分による怪我などの状況を問う。		
(2) 歩道で怪我をした事例で、「街路樹の縁石が出ている所につまずいた」「側溝の蓋がない所に片足が落ちた」などを聞いている。「でこぼこになっていて歩きにくい」「怪我をする人が出る前に早く直してほしい」との声も聞いている。町内の歩道整備の現状と改修の計画を問う。		
(3) 町道1号線で児童が交通事故に遭った交差点付近の整備が進んでいない。信号機の設置、注意喚起の道路や電柱への掲示、自転車走行ラインの設置などが住民から繰り返し求められている。進捗を問う。		
(4) 町内道路への自転車走行ラインの設置計画を問う。		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑩-1／2）

質問者	朝子直美（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
1. 保育所について		町長
<p>(1) この間の保育所入所希望児の増加に伴い、町立保育所の定員が見直された。定員数に見合うトイレ、手洗い場などの増設や、おもちゃ、乳母車など、保育に必要な備品の購入が求められると考えるが、対応はどのようにになっているか。</p> <p>(2) 保育所の大規模化は、子ども一人当たりのスペースの減少や、一人一人に丁寧に関わる保育が困難になるなど、保育の質の低下につながる。保育の質の維持・向上を図るため、保育所を増設（民間園誘致）し、子育ての町としての魅力を高めることを求めるがいかがか。</p> <p>(3) 町立保育所は長寿命化により現在の施設を使い続けることとされている。新たな複合施設完成後、除却予定の複合化対象施設（保健センターなど）を代替施設として活用し、大規模改修を行うことを求めるがいかがか。</p>		
2. 町民の移動手段の確保に向けて		町長
<p>町第4次総合計画では、公共交通について「今後高齢化が進むことからも福祉施策の対象に該当しなかった人への施策も含め、買い物や通院等の日常的な移動の利便性の向上をはじめとした町内外の移動手段の検討が必要」とされている。</p> <p>(1) 検討を進めるため、まずは、移動実態と移動ニーズを把握する住民アンケートに取り組むことを求めるがいかがか。</p> <p>(2) 住民の暮らしを支える公共交通の整備について検討するため、近隣市をはじめ多くの自治体で地域公共交通会議が設置されている。本町においても設置すべきと考えるがいかがか。</p>		

令和5年大山崎町議会第4回定例会一般質問（⑩-2/2）

質問者	朝子直美（日本共産党議員団）	
質問事項		答弁を求める者
3. 脱炭素のまちづくりについて  (1) 公共施設のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化を進め るため、省エネに効果的な断熱化改修や創エネのための太陽光パネ ルの設置を進めるべきと考えるがいかがか。  (2) 新たな複合施設におけるZEBの導入についての検討状況を問 う。	町長	